

天 寿 会

金沢医科大学
天寿会事務局

献体とは

子供たちの健やかな日々と

明日の医療の発展を願って

より良い医師・歯科医師を育てるために

(財)日本篤志献体協会リーフレットより抜粋)

～お知らせ～ R3.6.29更新

✚ 第43回納骨式を執り行いました

例年、5月第4土曜日に執り行われる納骨式について、今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、御遺族様、会員様の安全性を第一に考え、規模を縮小して令和3年5月22日（土）11時から、学内関係者のみで執り行いました。

なお、納骨式及び納骨の様子は写真等で会報「天寿」においても、ご報告させていただきます。



✚ 献体とは

献体とは医学・歯学の大学における人体解剖学の教育研究に役立たせるため自分の遺体を無条件・無報酬で提供することをいいます。

✚ 解剖の種類

解剖には、大きく分けて次のような3種類があります。

- ① 正常解剖（系統解剖）：人体の構造を調べるための解剖
- ② 病理解剖：死後、すぐに病変を調べるための解剖
- ③ 法理解剖（司法・行政解剖）：変死体の死因を調べるための解剖

✚ 献体の意義

金沢医科大学でお預かりした全てのご遺体は死体解剖保存法および献体法の趣旨にしたがい、礼意をもってお取り扱いいたします。

- ① 医学部学生の正常解剖実習および看護学部学生の見学実習に役立てる。
- ② 臓器や組織の一部を標本として保存し、学術研究や医学・医療教育のために役立てる。なお、研究成果により発生した知的財産権等については、本学に帰属します。
- ③ 金沢医科大学の教職員がおこなう新しい医療技術や手術の修練のために役立てる。

✚ 天寿会について

金沢医科大学学事部教学課内に「天寿会（てんじゅかい）事務局」を設置しています。この集まりは、献体登録をした人たちで作る組織団体で、会員は金沢医科大学に献体することになっています。

「天寿会」では、年1回の総会を開催し、会員への活動報告や講演活動を行っています。また、会員の投稿する会報「天寿（てんじゅ）」の発行などを通じて、会員間の親睦と交流を図っています。

✚ 天寿会へのご入会（献体登録）について

常時受け付けております。詳細については、「金沢医科大学天寿会事務局」へ直接お電話をお願いいたします。

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地
金沢医科大学天寿会事務局

電話 直通 076-218-8049

（平日9時～17時／土曜9時～12時）

✚ 会員になるためには

入会について、「入会される方のご家族（両親、配偶者、子供、孫、兄弟姉妹等）の同意（20歳以上／2名以上のご署名・ご捺印）が必要となります。生前、「天寿会」に入会されておられても、死後、実際にその遺志を実行されるのはご家族の同意者であって、申込者ご本人ではありません。したがって、ご遺族の方に一人でも反対がありますと献体は実行されず、その遺志がいかされないことにもなりかねません。重要な事ですのでご家族でよく話し合っておいてください。

なお、遠方の方からのお申込みについてはお断りする場合があります。お住まいの近くにある医科大学・医学部をご紹介しますことができます。

✚ 会員証（献体登録証）の発行

天寿会の会員になられますと、会員証（献体登録証）が発行されます。緊急連絡先等が記載されていますので大切に保管をお願いいたします。

献体登録者（会員）が逝去された時、ご遺族あるいは身近な方が、会員証に書かれた緊急連絡先にお電話ください。その際、ご遺体のお迎え日時や手順を天寿会事務局にご相談ください。

✚ 退会について

いつでも退会できます。ご遠慮なく天寿会事務局にお申し出ください。また、県外へ転居される場合もご相談ください。

✚ よくある質問

- ◆ 会員としての特典はありますか？
「献体」は自発的な善意に基づく行為であって、入会した場合の特典に類するものではありません。
- ◆ 家族がいない場合はどうしたらいいですか？
お断りする場合がございますが、天寿会事務局に一度ご相談ください。
- ◆ 病気や手術をした場合も献体できますか？
生前の病気や手術のあとがあっても、ほとんどの場合、支障はありません。ただし、一部の感染症でお亡くなりになった場合、献体をご遠慮いただく場合があります。
- ◆ 事故等で身体に大きな損傷を受けた場合も献体できますか？

外傷がひどい時などは献体できない場合もあります。天寿会事務局にご連絡ください。

◆ 入会金や会費等は必要ですか？

金銭的負担は一切ありません。ご献体の保存や解剖に係る費用、解剖後の火葬費用等は大学が負担することになっています。

なお、ご葬儀の費用はご遺族でご負担いただくこととなります。

◆ ご遺骨の返還はいつされますか？

献体されたのち、解剖後、ご遺体は一体ごとに大学側で丁寧に火葬し、希望されるご遺族には確認のうえ、ご遺骨の一部を返還いたします。

ご遺骨が返還されるまでの期間は、お預かりしているご遺体の数の状況などによって変わりますが、通常は3年程度（前後することがあります）です。

なお、ご遺骨の一部は本学敷地内に設置されております「金沢医科大学納骨堂」において永代供養をいたします。ご遺族が返還を希望されない場合も、同納骨堂にお納めして永代供養をいたします。墓参も出来ませんので天寿会事務局にお尋ねください。

また、毎年大学の行事として、「ご遺骨返還式」、「納骨式」、「合同追悼慰霊祭」などを行っており、関係するご遺族にはその都度ご案内を行っています。

※献体については、「公益財団法人 日本篤志献体協会」のホームページもご参考にしてください。

